

## 極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、1999年春季大会（東京）での開催内容のご案内を致します。

日時：1999年4月28日（水、大会3日目）17：30頃  
～2時間程度

場所：気象庁5階第1会議室

話題：

1. 第39次南極越冬観測報告  
橋田 元（国立極地研究所）
2. 南極第6期観測計画について  
話題提供 平沢尚彦（国立極地研究所）
3. 一般講演  
「南極氷床の衛星観測」  
高橋 晃（通信総合研究所）  
「南極底層水の形成過程をさぐる」  
牛尾収輝（国立極地研究所）

今回は南極特集です。

はじめに、この春に南極越冬観測より戻られた極地研の橋田氏より、大気微量成分の定常観測および気球によるサンプリング実験について、氷床上の積雪表層部に蓄積されている空気（フィルンエア）の振る舞いに関する最新の成果について、越冬風景などの紹介も交えながら報告して頂きます。

続いて、2002年から始まる南極第6期5か年計画の進捗状況などについて国立極地研究所の平沢氏より報

告して頂きます。

後半は南極域に関する一般講演として、いずれも大気側とは広い接点を持つ、気象学にとっても大変かわりの深い領域である南極氷床と南極海洋について2名の方に講演して頂きます。

開始時刻の詳細は学会会場にてご案内致します。

なお、1999年秋季大会以降、極域・寒冷域研究連絡会で現在予定されている話題としては以下が挙げられます。理論、モデル、データ解析による「ディスクワーク特集」、「南極ブロッキング」、「オホーツク海の大気-海水-海洋相互作用」、「GAME SIBERIA」などの報告。継続的内容としては、98年春季大会の話題「無人定常高層気象観測装置の開発と観測網の展開について」の進捗状況について、南極観測計画についてなどです。

代表：木村竜治（東京大学海洋研究所）

世話役：平沢尚彦（国立極地研究所）

中村 尚（東京大学理学部）

浮田甚郎（地球フロンティア研究システム）

高田久美子（国立環境研究所）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

本田明治（地球フロンティア研究システム）



## 第40回科学技術映像祭表彰式・入選作品発表会

日本の貴重な最新科学技術映像を紹介。今回入選した「教育」「技術」「医学」「学術研究」「ポピュラーサイエンス」の5部門の作品を一挙公開する。科学技術庁長官賞を受賞したNHKの『海～知られざる世界～深層海流・2千年の大航海』は、海流そして海と大気の相互作用を探り、温暖で安定した地球の気候が実は微妙なバランスの上に立っていると考えられ、1万3千年前に起こった異常気象と深層海流の関係を明らかにしていく作品。

日程：4月15（木）・16日（金）入場無料、要申込み（当日可）

会場：科学技術館・サイエンスホール  
（千代田区北の丸公園2-1）

交通：地下鉄竹橋駅・九段下駅徒歩7分

問い合わせ：日本科学技術振興財団・振興部/四村

TEL 03-3212-2454

FAX 03-3212-0014